

さらなる時代の扉をひらけ  
札幌学院大学  
創立50周年



Sapporo Gakuin University

# 学園広報

1997. 7. 15 No.67

編集・発行 札幌学院大学 企画調査室  
〒069 北海道江別市文京台11番地  
電話 (011)386-8111



式辞を述べる伊坂重孝理事長=50年記念館SGUホール

## 創立50周年記念式典・祝賀会盛大に 新世紀にはばたくSGU

学校法人札幌学院大学創立五〇周年記念式典が、六月十四日午前十一時から、祝賀会が同十三時三十分から来賓をはじめ関係各位六五〇名のご臨席のもと、本学五〇年記念館で盛大に挙行された。式典は、本学の半世紀の歩みを紹介したビデオの上映に始まり、伊坂重孝理事長は式辞の中で「本学園が道内多数の私学にまで発展できたのは、各界からの力添えによるものである」として、関係各位に謝意を表し、「これを機に、学独自の

由「独自の研鑽」個性の尊重」という建学の精神に根ざした教育・研究活動の充実を一段と努力を傾注する」と結んだ。続いて樋口修資文部省

高等教育局私学部私学助成課長(文部大臣祝辞代読)、戸田修三日本私学振興財団理事長、原野幸康日本私立大学協会事務局長(会長祝辞代読)、石野彰北海道知事室長(知事祝辞代読)、丹保憲仁北海道大学総長からそれぞれ、創立五〇周年の大きな節目を迎えた本学に対する慶賀のお言葉を頂戴し、また、今後の人材育成等社会への貢献に期待する旨の祝辞が述べられた。最後に、土田英順氏ら五名の弦楽奏者による

下ろす札幌市内や石狩平野を目の当たりにして、創設期の労苦に思いを馳せながら、半世紀の移り変わりの大きさにしみじみと感入っている様子であった。最後に遊佐孝五学校法人酪農学園理事長の音頭で、万歳三唱を行い、来賓者の温かい祝福のうちに散会した。

札幌文科専門学院、札幌短期大学、札幌学院大学のそれぞれが校歌の演奏を式典を締めくくった。祝賀会は、八階ラウンジに会場を移して開会された。はじめに杉本正学長から「来る二十一世紀は、私学にとって冬の時代といわれているが、この時に独自の建学の理念をもつて個性や特色をいかに発揮し、創造性豊かな有為な人材を育成して社会の付託に応えたい」と挨拶があり、森本正夫日本私立大学協会北海道支部長、横山末雄札幌学院大学文泉会会長から祝辞をいただき、力強い鏡開きの後、小川公人江別市長の乾杯のご発声で祝宴に入った。



来る21世紀の扉をひらけとばかりに力強く鏡開きをする来賓・学園関係者=祝賀会

### 多彩に記念行事

## 連続公開講演会

山田洋次氏 梅原猛氏ら迎え



六月十四日の創立五〇周年記念式典および祝賀会に続き、本学五〇年の歩みを確かめ、新たな地平に立つて次代を切り開いていくと各種記念行事を企画している。その第一弾として、各界各分野における第一人者を招いて行う連続公開講演会統一テーマ「いま新世紀に向けて」—あらためて「人間と社会を問う」—が、六月二十日から全六回の企画でスタートした。初回は、「男はつらいよ」『学校』『続』『息子』などでおなじみの映画監督・山田洋次氏Ⅱ写真Ⅱを迎えての講演「黄さんと日本人の暮し」が行われた。今ほじき渥美清さんへの思いや黄さん映画と重ねながら

### 札幌学院大学創立50周年記念

小樽市民講座 「講演と音楽の夕べ」	第21回学術講演会 「講演と音楽の夕べ」
<p>日時 1997年9月5日(金) 午後6時開演</p> <p>場所 小樽市民センター (マリンホール)</p> <p>講演 テーマ 未定</p> <p>講師 田中 彰 (札幌学院大学経済学部教授)</p> <p>音楽 「古典派の室内楽」</p> <p>曲目 ハイドン/ピアノ・トリオ ト長調 作品73の2 「ジプシーロンド」</p> <p>モーツァルト/ピアノ・トリオ 第7番 ト長調 K.564</p> <p>演奏者 中川和子(ピアノ)、西田直孝(フルート) 土田英順(チェロ)</p>	<p>日時 1997年11月13日(木) 午後6時30分開演</p> <p>場所 札幌コンサートホール (Kitara) 札幌市中央区中島公園内</p> <p>「羽田健太郎コンサート」(ピアノと講演)</p> <p>入場料 2,000円</p> <p>9月から札幌市内プレイガイドでチケット発売予定</p>

### 創立50周年記念 国際学術シンポジウム

日時: 1997年11月26日(水) 午後4時~8時(予定)

場所: 本学50年記念館

テーマ: 「市場社会と共生の原理」

報告者: ジョレス・メドベージェフ(英国)

奥村 宏(中央大学)

佐々木 洋(札幌学院大学)

予定討論者: 宇佐美 繁(宇都宮大学)

森岡 孝二(関西大学)

金 洛 年(韓国・東國大校)

大澤 真理(東京大学)

司 会: 嶺野 修(札幌学院大学)





### 同窓会から 緞帳を寄贈 SGUホール柿落し

四月二日、G館(五〇年記念館)一階SGUホールで約二五〇名の教職員・学生が参加し、緞帳贈呈式並びにSGUホール柿落しが行われた。

「緞帳贈呈式」では、SGUホールの緞帳を寄贈することになった文芸会「同窓会」から横山会長が出席、「石狩の野に昇る」と題された緞帳に込められた願いを紹介しながら、「SGUホールが芸術文化の薫り高い場所になることを期待している」と挨拶し、杉本学長に緞帳の目録を贈呈した。写真

引き続き行われた「柿落し」では、吹奏楽団「フオーク村」軽音楽部が日頃の練習の成果を発揮し、参加者を魅了。最



⑥ 法学部開設と「札幌商科大学」から「札幌学院大学」への校名変更を記念し、延べ50名で稚内と大学間3817キロを走破した駅伝マラソン

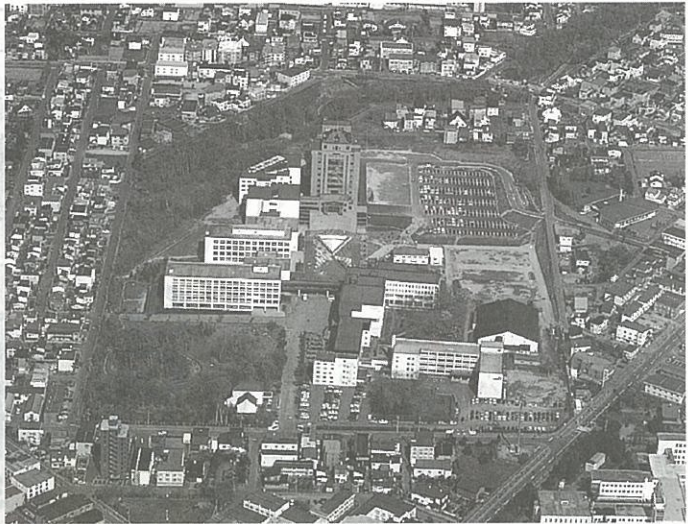
1984年3～4月



⑦ 学園創立40周年・大学開学20周年記念式典。新たに制定の「大学賛歌」が祝賀会で披露された

1987年10月

# 時代のとびら



⑧ 1997年5月撮影の第一キャンパス全景。校舎や関連施設も大幅に充実、特に地上9階建の50年記念館がひととき目立つ



### 後援会からはモニメント 流 政之氏制作「KIPPATO」

五〇年記念館正面の階段に、世界的彫刻家、流政之氏制作のモニメントが設置された。この除幕式は、五〇周年記念式典及び祝賀会終了後、制作者並びに学園披露されたモニメントにワインをか

## 教職員人事

- ◎任命(平成九年四月一日付)
- 商学部長 蔵田 親義 教授 再任
  - 経済学部長 是永 純弘 教授 新任
  - 人文学部長 中野 徹三 教授 新任
  - 社会情報学部長 狩野 陽 教授 再任
  - 法学研究科長 鈴木 敬夫 教授 新任
  - 教務部長 杉山 吉弘 教授 再任
  - 学生部長 船津 功 教授 再任
  - 就職部長 土井 亮二 講師 再任
  - 広報人試部長 稲村 勲 教授 再任
  - 図書部長 宇田 一明 教授 再任
- ◎採用(平成九年四月一日付)
- 安藤 実 教授 財政学担当
  - 河西 邦人 講師 経営学総論担当
  - 長谷川 峻 就職課勤務
  - 橋本 幸卓 教務課勤務
  - 工藤 祐三 管財課勤務
  - 伊藤亜矢子 講師 教育心理学担当

### 消費収支計算書

		(単位:千円)	
		平成8年度決算	平成9年度予算
帰属収入	学生納付金	4,504,947	4,529,000
	手数料	286,701	264,000
	寄付金	59,975	59,000
	補助金	399,224	469,000
	(内経常費補助金)	381,788	430,000
収入	資産運用収入	104,390	108,000
	資産売却差額	12,754	5,000
	事業収入	13,898	12,200
	雑収入	72,288	126,100
帰属収入合計		5,454,177	5,572,300
基本金組入額合計		△1,112,274	△898,580
消費収入の部合計(ア)		4,341,903	4,673,720

### 平成8年度決算 9年度予算

学校法人札幌学院大学の「平成8年度決算」ならびに「平成9年度予算」が理事会で承認されました。その概要は次のとおりです。

【平成8年度決算の概要】

入学志願者減による手数料収入の減少等がありました。その他の収入増により結果として、形になりました。

【平成9年度予算における主な重点政策事業】

- 50周年記念事業の推進
- 情報教育設備(パソコン)の更新ならびに語学教育設備(パソコン+L)の導入
- 図書館閲覧室の増築ならびに再配置(改修)
- 学内LANの充実
- 体育センター内トレーニング・マシンの更新
- ボイラー設備の更新
- 教育・研究の基盤整備と充実
  - 学習活動を高める教育機器・教材等の整備
  - 社会情報学部貸し出し用ノートパソコンの更新
  - ネットワーク実習用パソコンの整備
  - 社会情報学部ワークステーションの更新
  - 語学教室への視聴覚機器導入(5教室)
  - 商学部・経済学部調査実習補助の改善
  - 研究促進奨励金(個人)の改善
  - 教育・研究を支える図書・資料等の計画的整備
  - 経常図書・資料の充実
  - 情報検索サービスの充実(パソコン)の増設
  - 情報化社会に即応した機器等の整備と教育研究・事務システム開発の推進
  - 専用回線の高速化
  - 学外接続環境の拡張
  - ホームページの試験的導入
  - OA化推進(図書館電算化含む)
  - その他
    - 人文学部20周年事業の推進
    - 学術講演会、市民講座(小樽・釧路)の開催

### 貸借対照表

		(単位:千円)		
		本年度末	前年度末	増減
【資産の部】				
固定資産		15,283,943	14,778,799	505,144
有形固定資産		12,495,500	9,353,258	3,142,242
その他の固定資産		2,788,443	5,425,541	△2,637,098
流動資産		4,872,733	4,394,550	478,183
資産の部合計		20,156,676	19,173,349	983,327
【負債の部】				
固定負債		2,061,969	2,117,852	△55,883
流動負債		1,114,126	1,224,525	△110,399
負債の部合計		3,176,095	3,342,377	△166,282
【基本金及び消費収支差額の部】				
基本金		16,365,005	15,252,731	1,112,274
消費収支差額		615,576	578,241	37,335
合計		16,980,581	15,830,972	1,149,609
負債の部・基本金及び消費収支差額の部合計		20,156,676	19,173,349	983,327

- 前静岡大学文学部教授 長田 博泰 教授 社会情報学 概論担当
- 前弘前大学理学部教授 佐藤 和洋 助教授 データベース 助論担当
- 前北海道大学大学院工学研究科 博士課程単位取得退学 三十二歳
- 前北海道大学教育学部助手 工藤 祐三 管財課勤務
- 前北見大学工学部教授 橋本 幸卓 教務課勤務
- 前北見大学工学部教授 伊藤亜矢子 講師 教育心理学担当
- 前北見大学工学部教授 河西 邦人 講師 経営学総論担当
- 前北海道南陵高等学校校長 長谷川 峻 就職課勤務
- 前北見大学工学部教授 橋本 幸卓 教務課勤務
- 前北見大学工学部教授 伊藤亜矢子 講師 教育心理学担当
- 前北見大学工学部教授 河西 邦人 講師 経営学総論担当
- 前北海道南陵高等学校校長 長谷川 峻 就職課勤務

### おこやみ

故小泉 良夫 先生

本学元教授小泉良夫氏は平成九年五月十四日、腎不全のため、七十四歳にて逝去されました。

先生は北海道北見大学助教授、静修短期大学教授などを経て、昭和六十一年四月

本学商学部教授として就任され、経営学総論などを担当されました。昭和六十三年から平成五年までは本学園の常務理事として学園の発展に貢献されました。この間、平成三年の社会情報学部の開設にあたっては多大なる「尽力」をいたされ、学部開設後は同学部教授として社会情報学などを担当されました。

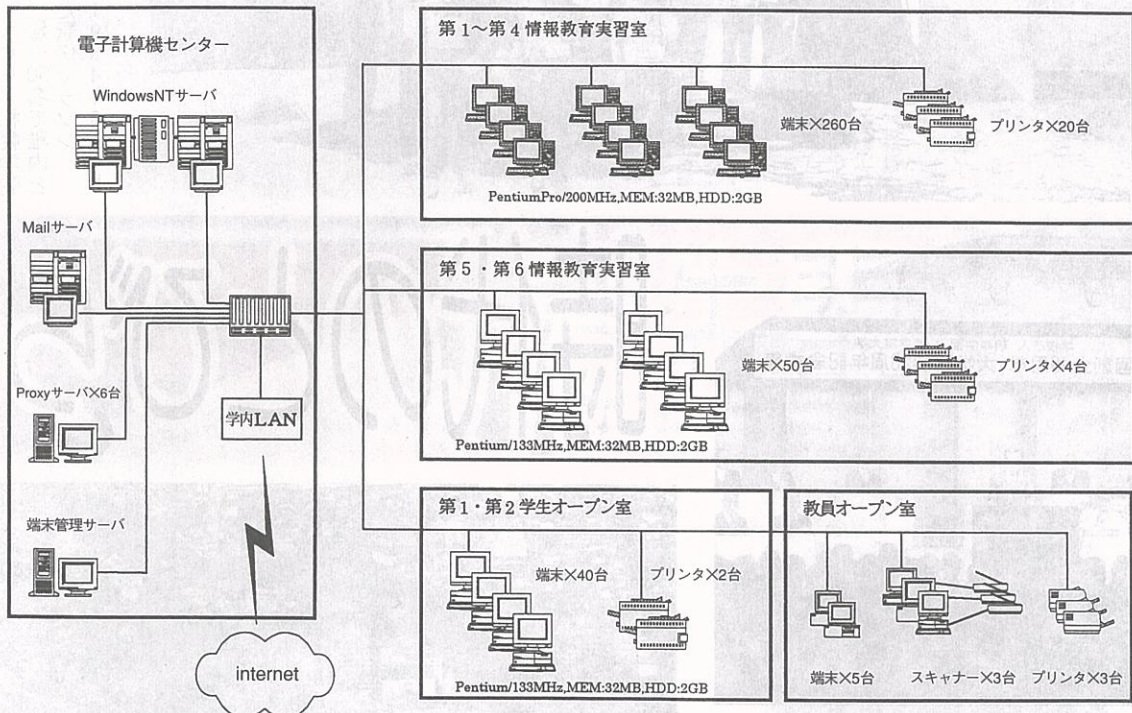
先生のご功績と「遺徳」を偲び、謹んで哀悼をお祈り申し上げます。

三好 宏一(教授)  
梅澤 利二(教授)  
佐久間安世(教授)  
西田 敬一(教授)  
旗本 智之(助教授)  
鹿倉 久幸(教務課)  
八幡 里志(管財課)

前(株)北見運入人事部長 五十九歳  
◎昇格(平成九年四月一日付)  
教授 坪井 主税  
教授 城下 裕二  
助教授 菅原 秀一  
助教授 奥田 統巳  
◎退職(平成九年三月三十一日付)  
山田 正男(教授)  
田中 一(教授)

# コンピュータシステム一新 インターネット、学内LANも自在に

## 総合情報教育システム



(1) クラスタ構成の高性能ファイルサーバ  
 イルサーバ  
 学生のアカウントやデータを  
 可欠であった。  
 本システムの主な特徴は次の通りである。

「情報教育」では、これまでのプログラム偏重教育を改めて、コンピュータネットワークを文庫・道具として捉える情報リテラシー教育に主眼を置いていく。このためには操作性のよいOS(基本ソフト)であるWindows、多機能なアプリケーション及びインターネット用ソフトを利用できる性能を持つコンピュータの導入が不可欠であった。

管理するファイルサーバとして、コストパフォーマンスの高いDEC製のAIPDをクラスタ構成で二台設置している。これにより、プロセスの負荷分散が可能となり耐故障性が極めて高いシステムとなっている。OSにはセキユリティ機能の高いWindowsNT Server 4.0を使用している。第1・第4情報教育実習室にはDEC製の高性能パソコンを二〇〇台設置し、第5・第6情報教育実習室及び学生オープン室にはEPSON製の標準機能パソコンを九〇台設置している。これらのクライアントパソコンには、OSとしてWindows95と操作性が同じWindowsNT Workstation 4.0と各種アプリケーションが登録されている。

# 情報教育を推進

平成九年度から全学共通科目の「情報教育」や専門教育を支援する性能を備えた三五〇台のコンピュータが、電子計算機センターに導入され、教員や学生から好評を得ている。

### (3) 授業支援システム

教員から学生への教材配布、学生からのレポート回収、学生機の利用状況の把握、教員・学生機間の画面転送、出席管理、メッセージ送信機能、教員呼び出し機能など実習授業を進める上で便利な機能を持つ授業支援システム(CAMPUS Esper)を使用している。

道内初の本格的な語学情報教育システム、CALL(コンピュータ支援による英語学習)が本年度よりA館一階に導入された。従来のLL装置に加えて、学生用コンピュータ四十八台と膨大な英語学習ソフトの入ったサーバを最新の高速ネットワークで結んだシステムで、マルチメディア時代を先取りした、画期的な学習環境である。

## マルチメディア時代の英語学習

# SGU・CALL登場!

道内初の本格的な語学情報教育システム、CALL(コンピュータ支援による英語学習)が本年度よりA館一階に導入された。従来のLL装置に加えて、学生用コンピュータ四十八台と膨大な英語学習ソフトの入ったサーバを最新の高速ネットワークで結んだシステムで、マルチメディア時代を先取りした、画期的な学習環境である。

入っていない午後の時間帯であれば、簡単な事前の登録手続きでいつでも利用可能である。BBC(英国放送協会)制作の学習ソフトを活用して、自分のレベルにあった教材を選択し、自分の理解度に合わせた速度で英語の力、特にリスニング能力を著実に身につけることができる。操作は簡単で、マウスをクリックするだけで、格調溢れる英国風の英語が色彩豊かな映像と共に流れ、ロールプレイ

## 進むキャンパスの総合情報化



期待できる。また、インターネット各所にあるWebサイトのホームページを検索することもより様々な情報資源を活用することもできる。このように、今回導入したコンピュータシステムは単なる情報教育の道具に止まらず、本学の教育形態をも変えていく可能性を秘めている。

実習を円滑に進める授業支援システムを持つコンピュータ



1の中央に置くことにより、教員の指示を確認しながら、学習の進捗を進めることができる。また、本学のCALL教室

## 個性に合わせて英語力アップ

センターモニターにより教員との双方向授業が受けられる

は真にユーザーフレンドリーな教育環境が追求されていると同時に、人間性を尊重したヒューマンな学習環境が用意されている。従来のコンピュータ教室の無機質なイメージを払拭し、教材を用いた学生用ブースは利用者から共感を呼んでいる。

このSGU・CALLシステムは、本学の研究促進奨励金(共同)の支援を受けて二年間の準備期間を経て実現したもので、開設早々から多くの学生が積極的に利用している。英語英米文学科の学生に限らず、多くの学生がこのシステムで「コミュニケーションのための英語」を習得して、それぞれの分野で二十一世紀の地球社会を創造する人材となることを期待される。

## 1998(平成10)年度 入学試験日程

大学院						
研究科	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日		
法学研究科 法学専攻 修士課程	9月16日(火)~10月3日(金)	10月18日(土)	10月29日(水)	11月14日(金)		

学部						
試験区分	学部・学科	出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日	
推薦入試	商学部 第一部 商学科	11月4日(火)~11月13日(木)	11月26日(水)	12月10日(水)	12月19日(金)	
	人文学部 英語英米文学科					
	法学部 法律学科					
一般入試	商学部 第二部 商学科	1月8日(木)~1月20日(火)	2月7日(土)	2月24日(火)	3月5日(木)	
	経済学部 経済学科					
	人文学部 人間科学科					
二期	商学部 第一部 商学科	2月24日(火)~3月2日(月)	3月5日(木)	3月10日(火)	3月18日(水)	
	人文学部 英語英米文学科					
	法学部 法律学科					
社会人	商学部 第二部 商学科	11月4日(火)~11月13日(木)	11月26日(水)	12月10日(水)	12月19日(金)	
	人文学部 人間科学科					
	社会情報学部 社会情報学科					
外国人	全学部 (商学部第二部を除く)	12月8日(月)~12月18日(木)	1月21日(水)	1月27日(火)	2月13日(金)	